



Q：先日亡くなった名脇役と言われた俳優の阿藤快さん。死因の胸部大動脈瘤破裂とは、どのような病気ですか
A：大動脈は心臓から胸部、腹部にいたる、からだの中心を走る最も太い血管のことです。太さは胸部で約3センチ、腹部で約2センチあります。大動脈瘤の原因としては、動脈硬化によるものが最も多く、動脈硬化によって弾力性が低下して、硬くもろくなった血管壁に高血圧などの要因が加わることで、血管がこぶ状に膨らんだ状態となります。
大動脈瘤が怖いのは、突然破裂することがあり、破裂すると非常に致死率が高いこと

です。通常、大動脈瘤は徐々に大きくなるため、初めはほとんど症状がなく、たまたま健診で見つかることもまれではありません。胸部大動脈瘤の場合、大きくなって周囲の組織を圧迫して初めて症状が現れ、胸部・背部の痛みや、息苦しくなる・声がかすれる・物が飲み込みにくいなどの症状を起すことがあります。破裂すると胸腔内に大出血して、胸や背中に激痛を生じ、呼吸困難やショック状態を起します。

大動脈瘤が大きくなってきて、血管の太さが2倍以上になると、破裂の危険があるため手術が必要です。手術の根本は、人工血管による大動脈の置換術です。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎055・288・1801